

テーマ研究・調査活動成果報告書

提出日：2016年 3月 22日

<p>テーマ名</p>	<p>オープンデータ活用に関する研究 ～ ITコーディネータにとってのオープンデータビジネスの可能性(応用編) ～</p>	
<p>届出組織等名称</p>	<p>企業内ITコーディネータ・ITガバナンス研究会</p>	
<p>成果物公開URL</p>	<p></p>	
<p>当活動代表者 及び担当者連絡先</p>	<p>(代表者氏名) 古川 正紀 電話番号: 03-5341-4890 e-mail: furukawa@astop-si.co.jp</p>	<p>(担当者氏名) 同左 電話番号: e-mail:</p>
<p>研究・調査 成果概要</p>	<p>オープンデータとは、「自由に使えて再利用もでき、かつ誰でも再配布できるようなデータ」を指します。 近年公共データの活用促進、すなわち「オープンデータ」の推進により、行政の透明性・信頼性などが高まることが期待され、更には「オープンデータ」の活用による、革新的事業の創生、地方の活性化などが期待されています。</p> <p>昨年私達ITガバナンス研究会では、このオープンデータに対して、行政機関が保有するデータの公開にフォーカスして論述する。 また、昨年は「入門編」と位置付け、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どこに、どの様なオープンデータが、どの様な形で格納されており、</li> <li>・ どうすれば、それらを取り出すことが出来て、</li> <li>・ どの様な活用が可能か…</li> </ul> <p>の観点から、ITコーディネータとして、どのような活用局面があるだろうかを、事例を挙げて論述した。</p> <p>本年度はこれを一步踏み込み、ITコーディネータとしてオープンデータをどのように活用してゆくべきかについて論述する。</p>	
<p>成果物</p>	<p>章立ては、 1章はじめに 2章オープンデータに関する日本の動向とITCの取り組み 3章オープンデータを抽出するためのノウハウ 4章オープンデータを分析・活用するためのノウハウ 5章まとめ</p> <p>とし、本年度は実務に役立つ「応用編」になっています。</p>	

<p>事務局受付日</p>	<p>2016/3/22</p>
<p>案件番号</p>	<p>S15003</p>